

令和7年度 小学部 国語科 2グループ

主体的に学ぶ姿

- ・見通しをもって、自分から取り組む姿
- ・自分から安心して教材に手を伸ばす姿
- ・課題を受け入れて、やってみる姿
- ・友達の姿、やっていることを見る姿

学びを実感、発揮する姿

- ・「できた」と伝える姿
- ・教師から称賛されることで、学びの実感につながる。
- ・カードの中から聞いた言葉に当てはまるものを選ぶ姿
- ・学んだことを自分なりの方法で表し、他の場面でやろうとする姿
- ・自分の得意なものを選ぶ姿

令和7年度 小学部 国語科 で大切にしたいこと

—国語科における実態、学部で目指す姿—

<実態・課題>

- ・ 普段使っている身近な言葉は、ある程度理解できている。
- ・ 言葉が少ない児童が多く、グループ内でも実態差がある。
- ・ 話を聞くことに課題のある児童が多い。
- ・ 興味の幅は狭いが、操作性のある活動や興味がある活動、見通しのもてる活動には取り組める。



<目指す主体的な学びの姿>

- ・ 見通しをもって、自分から取り組む姿
- ・ 自分から安心して教材に手を伸ばす姿
- ・ 課題を受け入れて、やってみる姿
- ・ 友達の姿、やっていることを見る姿

<目指す学びの実感、発揮の姿>

- ・ 「できた」と伝える姿 ・ 教師から称賛されることで、学びの実感につながる。
- ・ カードの中から聞いた言葉に当てはまるものを選ぶ姿
- ・ 学んだことを自分なりの方法で表し、他の場面でやろうとする姿
- ・ 自分の得意なものを選ぶ姿

学部で大切にしたいこと

「主体的な学び」のために	「学びの実感、発揮」のために
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あと一歩でできそう」、「やったことある」という安心できる教材教具の工夫。 ・ 楽しく学ぶことのできる活動。 (日常動作、日常で聞く言葉を取り上げる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの場面で、学習したことを児童が発表する時間や動画で自分や友達の様子を見る時間を設定する。 ・ 国語科以外の場面でも「伝わった!」と実感できるような場の設定。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返しの活動。(学びを繰り返し、積み重ねていく。) ・ 体験しながら学ぶ活動。 	

学びの発揮・エピソード記録

小学部 国語科 2 グループ

国語で学んだ内容	その他の学習・生活での学び	学びを発揮した場面	児童の様子
・ものの名前 （「体温計」）	朝の活動の際、繰り返し体温計の名前を確認した。	・朝の活動	・朝の活動で、体温計で熱を測るとき、「お熱取ってください」と話していたが、「体温計取ってください」と話すようになった。
・話す、伝える	・振り返り場面 ・朝の会の司会	・お楽しみ会	・感想発表の際、教師がそばにいなくてもみんなに聞こえる声で「3・4・5年生の玉入れゲームを頑張りました。」と話すことができた。
・動き		・遊び 紙粘土での制作	・「『こねる』やった！」と国語で学習した言葉を使って教師に話すようになった。

令和7年度 中学部 国語科 Aグループ

主体的に学ぶ姿

- ・ 取り組むべき内容に自分から取り組む。
- ・ 友達の発表に興味をもつ、聞く、表情が変わる、感想を話す。
- ・ 否定的な発言が少なく、よい表情をしている。

学びを実感、発揮する姿

<実感する姿>

- ・ 友達に発表することを通して「相手に伝わった」と感じる。
- ・ 教師に評価されることで「できた」と感じる。
- ・ 振り返りで分かったことを表現する。

<発揮する姿>

- ・ 他の学習で （キャリアノートで気持ちを含めた感想を書く、小集団で感想発表をする）

令和7年度 中学部 国語科 で大切にしたいこと

—国語科における実態、学部で目指す姿—

<実態・課題>

- 教師や友達との関わりを好んでいる。
- 言葉で自分なりのコミュニケーションをとる。
- 学習場面で自分の意見を伝えるようになってきた。

- △伝える、伝わる経験の不足
- △相手に伝わるように話すこと課題
(語彙、言葉遣い、順序など)
- △相手の話を聞く態度に課題
- △公の場で自信をもってはきはきと話す

<目指す主体的な学びの姿>

- ・教師や友達の話に反応する(表情、視線、うなずき、発声・発言、質問、模倣など)
- ・学習に向かう態度が良い(着席、正しい姿勢 など)
- ・声色、表情が明るい 肯定的な発言が多い。「やりたい」「やってみよう」

<目指す学びの実感、発揮の姿>

- ・評価してもらい、「僕できたんだ!」と実感
- ・時、場所、人がかわっても発揮できる

中学部で大切にしたいこと

「主体的な学び」のために

「学びの実感、発揮」のために

①環境づくり

(安心感、発表できる雰囲気づくり、教材)

→何のために工夫しているのか根拠を明らかにする

(「〇〇さんはこういう姿が見られるので、安心して
きるこのような教材を」などのように

◎自立活動の視点を踏まえて)

②生徒の課題の分析(課題の根源まで注目する)

- ・「友達に伝わった」という経験ができる場面設定
- ・授業者、国語担当以外の教師に認めてもらう
場面の設定<実感>
- ・「自分はこれだけやったぞ」視覚的に蓄積

【実態】

平仮名の基礎的な読み書きをすることができ、「～を頑張りました」や「～ができました」という表現で振り返りを記入することが多く、「いつ」「どこで」の情報や自分の気持ちや自分の気持ちを添えて書くことが少ない。イラストや文章から主語・述語を読み取ることが難しい。

【学習指導要領における、

目標・内容】

- 【知識及び技能】
言葉の特徴や使い方を
小学部3段階(オ) 中学部1段階(オ)
- 【思考力・判断力・表現力等】
聞くこと・話すこと
小学部3段階カ、中学部1段階オ
書くこと
小学部3段階イ、ウ、オ

【単元題材の目標】

- ・主語や述語、気持ちを表す言葉、「いつ」「どこで」の情報をを用いて文章をつくる。(知・技)
- ・2コマ漫画から相手に伝えるために必要な情報を考える。(主語、述語、気持ち、いつ、どこで)。(思考力)
- ・友達のかえした文章の表現に興味をもち、自分との違いに気付き、取り入れる。(学、人)

指導計画

主な目録	主な内容	関連する学習	自立活動の視点での主な手立て
○言葉のめいたんてい〜どうにゆう〜 ・主語と述語、気持ちを表す言葉を知る。 (知・技) ・2コマ漫画の吹き出しの内容を考え、発表する。(学、人)	・主語と述語、気持ちを表す言葉などの文章をつくるポイントを知る。 ・2コマ漫画を説明する文章をつくる。(主語・述語、気持ちを表す言葉、「いつ」「どこで」を用いて) ・つくった文章を聞いて、どの2コマ漫画を説明しているのかクイズを出題する。	自立活動 生活単元学習 作業学習 総合的な学習の時間	○確率の段階 ・発音が難しい生徒も授業に参加することができるよう、オンラインでつなく。 ○心理的な安定 ・生徒が安心感をもてるよう教師と生徒が一対一で内容や考えを確認する時間を設ける。 ・各時間同じ様式のワークシートを用いる。 ・ワークシートと同じように板書する。 ・見えにくさを感じている生徒はA3のワークシートにしたり、穴埋めにしたりする。 ・クイズ形式を取り入れ、楽しい雰囲気づくりをする。 ○コミュニケーション ・発表することに緊張感の強い生徒も相手に伝わった経験ができるよう、クイズ形式にする。
○言葉のめいたんてい〜文づくりに〜 ・主語・述語、気持ちを表す言葉、「いつ」「どこで」の情報をを用いて2コマ漫画を説明する文章をつくる。 (知・技) ・登場人物の気持ちを読み取る。 (原判表)	・2コマ漫画を説明する文章をつくる。(主語・述語、気持ちを表す言葉、「いつ」「どこで」を用いて) ・つくった文章を聞いて、どの2コマ漫画を説明しているのかクイズを出題する。 ・学校行事を説明する文章をつくる。	自立活動 生活単元学習 作業学習 総合的な学習の時間 社会科	○心理的な安定 ・日常がもてるよう、「いい考えですな」など肯定的な言葉かけをする。 ・オンラインの生徒も一緒に学習しているように感じられるよう、発言を促す。 ○コミュニケーション ・発表することへの抵抗感を減らすために前に立って発表するのではなく、自分の席から発言が見えるような配置での発表にする。

この単元題材において目指す、

- 生徒の主体的な姿、学びを実感、発揮する具体的な姿、過去に学んだ内容やヒントを手掛かりに、自分から課題に取り組んでいる。(主体的な姿)
- 自分の考えた文章が相手に伝わったと感じる。(実感する姿)
- 主語・述語、気持ちを表す言葉を用いてキャリアノートの感想や作業日誌を書く。(発揮する姿)

一 主体的な学び、学びの実感、発揮につなげるために〜
単元題材(扱う題材、構成等)

- 教材
ChatGPTで作成した2コマ漫画を用いる。生徒の生活や経験に近い内容にする。
一イラストがシンプルで内容を整理しやすい。
実生活とつながりやすい。
- 構成
「言葉のめいたんてい〜文づくりに〜」において、繰り返しの学習で学習が身に付くことを踏まえ時数を多く設定する。

導入・展開・まとめ場面の在り方

- 導入
・前時の振り返りや、文をつくるときのポイントを全員で丁寧に確認する。★主体的な学びへつなげる。
- 展開
①2コマ漫画の主語・述語、登場人物の気持ちを考える。
②ロイノートで文章をつくる。(書字に時間が掛かるため、ロイノートを用いて文章を考えることに時間を掛ける)
- まとめ
①友達に自分の文章を発表し、どの2コマ漫画を説明しているか当ててもらおう(クイズ形式)
★相手に伝わる経験、相手に伝わった実感を。
②振り返りの記入。
★学びの発揮。

【単元を進める上で、自立活動の視点から改善した支援】

- 心理的な安定
・日常がもてるよう、「いい考えですな」など肯定的な言葉かけをする。
・オンラインの生徒も一緒に学習しているように感じられるよう、発言を促す。
○コミュニケーション
・発表することへの抵抗感を減らすために前に立って発表するのではなく、自分の席から発言が見えるような配置での発表にする。

学びの発揮・エピソード記録

中学部国語科 A グループ

国語で学んだ内容	学びを発揮した場面	生徒の様子(生徒 C)
<p>○前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の学習 (イラストや写真から単語を探す学習、説明文を読んでタイトルを考える学習) ・スイミー (気持ちを表す言葉の学習) 	<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度取り組んだプリントに期間を空けて取り組むと、答えを記入するスピードが上がった。 →一度やったことで自信がついた？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読むことができるが、単語一つ一つの意味が分かっていない様子。 ・小集団での話し合いが苦手。 ・0から考えることが苦手、<u>選択肢を提示することで答えることができた。</u> ・「登場人物はどんな気持ちかな？」という質問に「プレゼント」など気持ちを表す言葉以外の単語を答える。 ・主語・述語で自分のできごとを書くことが難しい。書き出しが分からない様子。 ・キャリアノートの記入では何度も消すことがなくなり、文章を自分なりに書くようになった。気持ちを添えて書くことはない。 ・日常では教師と関わる際単語で話しかけることが多い。また相手によって話す特定の話題がある。
<p>○10月</p> <p>前半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2コマ漫画の吹き出しを考える。 (登場人物の気持ちを考える) <p>後半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2コマ漫画の説明文をつくる。 (主語・述語で説明する) 	<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を繰り返すことで登場人物の表情を見て、単語カードから「嬉しい」「悲しい」という気持ちを選ぶことができるようになってきた。 <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を繰り返すことで主語・述語の意味が分かり2コマ漫画を見て、一人で穴埋め(誰が、何をしているか)することができるようになってきている。 	<p>○日常での教師との会話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものの話の中で、「どうして好きなの」と質問すると、「～だからです」と理由を説明した。 ・自分から教師に話しかけることが多くなり、表情もよい。 ・友達や家族のことを話すようになった。 ・教師へ「～なのですがどうしますか？」と分からないことを相手に伝えるように質問するようになった。 →<u>◎関わり慣れた教師との会話を楽しんでいる。話すことに抵抗感がなくなっている。単語ではなく文章で話すことが多くなった。</u> <p>○自分の気持ちの表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の描いた絵画が作品展で選ばれたことを知ると笑顔で、感想を聞くと「うれしいです」と答えた。

令和7年度 高等部 国語科 Aグループ

主体的に学ぶ姿

- ・理由と根拠を明らかにして、自分の考えをまとめ、伝えることができる。
- ・自分の考えと比較しながら、相手の意見を聞く、認めることができる。

学びを実感、発揮する姿

<実感する姿>

- ・分かったことやポイントを自分の言葉で伝える。
- ・振り返りで分かったことを表現する。

<発揮する姿>

- ・他の学習の話合い活動や日常生活の会話の中で、友達に自分の思いが伝わる。

令和 7 年度 高等部 国語科 で大切にしたいこと

—国語科における実態、学部で目指す姿—

<実態・課題>

- ・いろいろなことに自信がないが、恐れずに発言することはできる。
- ・根拠、理由を述べずに発言することが多い。
- ・他者の話に反応することができる。
- ・語彙力が少ないため、伝わらないことからトラブルに発展することもある。
- ・大人の口調に引っ張られて、敬語を適切に使えないときがある。
- ・頭の中を整理することが苦手で、言語化できない。



<目指す主体的な学びの姿>

- ・失敗を恐れずに一人で挑戦する姿
- ・相手の意見を聞く、認める、受け入れる姿

<目指す学びの実感、発揮の姿>

- ・目的や相手に応じて適切な言葉を吟味して選び、思いや考えを伝え合う姿
- ・地域に出る学習で、その場に応じた発言や振る舞いができる姿

学部で大切にしたいこと

「主体的な学び」のために	「学びの実感、発揮」のために
<ul style="list-style-type: none">・自信をもって課題や発表に取り組むことができるように、積極的に発表できる環境づくりを行う。・相手の意見を聞き、自分の考えと比較して考えることができる学習活動を設定する。・集団の考えをまとめることができるように、ペア学習やグループ学習を設定する。	<ul style="list-style-type: none">・国語科で学んだ知識や経験を基に、適した言葉で表現する場面を他教科・領域で生かすことができるよう機会を設定する。・グループ学習で出た意見を自分の言葉で説明しまとめる機会を設定する。・自分の思いを表現して、相手に伝わる機会を増やす。・共通した身振りや手振りなどを増やして、相互に表現して伝わる経験を増やす。
<p>学習指導要領の内容（高等部 1 段階）</p> <p>知・技ア（ア）「言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く」 （エ）「表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やす」</p> <p>思判表 A（イ）「目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶ」</p>	

【実態】

- ・筋道を立てて話すことや、聞いて理解することが難しいときがある。
- ・自己理解と事実にずれがあることや、思いや考えを言葉で表現する力の不足により、周囲との関係が、うまくいかず、心が安定しないことがある。

【学習指導要領における、

目標・内容】
 1段階【知・技】イ(ア)、(イ)
 【史料表】
 A聞くこと・話すこと イ、エ、オ
 B書くこと ア、ウ

指導計画

【単元題材名】豊かな表現で伝え合おう。
 ～テーマについて話し合う～

【単元題材の目標】

- ・考えとそれを支える理由、事例など、情報と情報の関係、を理解する。(知・技)
- ・立場や意図を明確にして、考えを伝え合う。(史料表)
- ・互いの考えとそれを支える事例を比較し適切に検証する、ことを通して、自分の考えを広げたり深めたりする。(学、人)

時期	主な目標	主な内容	関連する学習	自立活動の観点での主な手立て
9月	・事象と意見、原因と結果など、情報どうしの関係について理解し、考えを支える事例の妥当性や獲得力を検証する。(知・技)	事象と意見① ・文章から事実と意見を読みとる練習をする。また、根拠(事実)を明確にして自分の意見や考えを文章やスピーチで伝える。	1段階【知・技】イ(ア)	自立活動の観点での主な手立て ○人間関係の形成 ・お互いの考えを共有して深めたり、比較して広げたりできるように、話し合いやすい環境の配慮をする。
10月	・伝える目的に応じて情報を集める。(知・技) ・比較したり分類したりすることで必要な情報を選ぶ。(史料表)	比較と分類 ・文章を読んで、情報を比較したり分類したりする練習をする。	1段階【知・技】イ(イ) 1段階【史料表】A聞くこと・話すことイ	○人間関係の形成 ・お互いの考えを尊重しながら比較し情報を冷静に検討できるように、観点を示した表を用意する。
11月	・伝える目的に応じて情報を集め、具体例を示すことで、獲得力のある意見を述べる。(史料表)	具体化・抽象化 ・文章を読んで情報を理解し具体例を挙げたり、情報を一般化したりする練習をする。	1段階【史料表】A聞くこと・話すことイ B書くことウ	○人間関係の形成 ・お互いの考えを尊重しながら情報を冷静に検討できるように、観点を示した表を用意する。 ○コミュニケーション ・異なる考えの人にも主観的に考えを伝えることができるよう、適切な具体例や望ましい話し方の例を示す。
12月	・互いの立場や意図を明確にしながら、テーマについて事例に基づいた理由を述べながら話し合う。(史料表) ・自他の意見と理由を参考にして、考えを広げたり深めたりする。(学、人)	テーマについて話し合う ・テーマについて意見を伝え合い、事例を吟味して、最終的な自分の考えを文章にまとめる。	1段階【史料表】A聞くこと・話すことイ エオ B書くこと アウ	○コミュニケーション ・話し合いの内容や状況を整理し、自分の考えをまとめるよう、メモや資料をiPadで見られるようにする。

この単元題材において目指す、

児童生徒の主体的な姿、学びを実感、発揮する具体的な姿。

【主体的に学ぶ姿】

- ・理由と根拠を明らかにして、自分の考えをまとめ、伝える。
 - ・自分の考えと比較しながら、相手の意見を聞く、認める。
- 【学びを実感、発揮する姿】
- ・わかったことやポイントを自分の言葉で伝える。

—主体的な学び、学びの実感、発揮につなげるために—

単元題材(扱う題材、構成等)

- ・言葉によって得た情報を整理して、状況や背景を正しく読み、判断することができるようにする。
- ・テーマに自分の意見や考えを、効果的に言葉で伝えることができるようにする。

導入・展開・まとめ場面の在り方

導入 興味関心の高い身近な題材を選ぶことができるようにし、活動への意欲を高める。

展開 メモや文章を書く際はiPadを活用し、文字を書く負担を減らす。

まとめ ・お互いの学習の成果を見合い、伝え合うことで、それぞれの良さが共有されるようにする。

・学習の前と後で自分の考えの成長を比較し、視覚的にも見て取れるようにして、自己の成長を実感できるようにする。

働き掛け、発問の工夫等

- ・生徒が自分の意見や考えに自信をもって伝えることができるよう、近い考えの生徒同士で話し合う時間を設け、根拠を明らかに行うようにする。
- ・話し合いに質疑応答の時間を設けることで、自分とは異なる立場を意図して根拠となる情報や伝え方を吟味できるようにする。

【単元を進める上で、自立活動の観点から改善した支援】

- 人間関係の形成
・自信をもって主体的に話し合うことができるよう、事前に話す内容を準備し相談する時間を設け、役割の配置も工夫する。
- コミュニケーション
・相手の立場や気持ちに配慮し、和やかな人間関係の中で話し合うことができるよう、望ましい言葉や話し方を示す。

学びの発揮・エピソード記録

高等部国語科 A グループ

国語で学んだ内容	学びを発揮した場面	生徒の様子
○音読の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・会話文を、登場人物の気持ちに合う読み方で読む。 ・文節や、読点「、」句点「。」で適切な間をとって、音読した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考えるために、内容を深く掘り下げて読み取っていた。感情の表す読み方の工夫がよくできていた。 ・教室の大きさや聞く人の人数も考えて、ちょうど良い声の大きさを音読していた。
○四字熟語	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した四字熟語を思い出して、熟語の意味とカードを選ぶことができた。 ・日常的に、起こった出来事を四字熟語に結びつけて話していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・覚えている熟語と覚えていない熟語、初めて知る熟語があった。 ・意味を選ぶとき、日常生活の中で、その語をんな場面で使うのかを話していた。 ・除草ボランティアのスクールバスの中で四字熟語の話をしていた。
○話して、聞いて、情報を伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いが持っている情報を伝え合って、問題を解くことができた。 ・生単でもメモを取って取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモしたり伝えたりするために、どの情報が大切なのかを選ぶことが難しそうだった。 ・自分に必要な情報を聞き取ることができ、記録することができていた。
○根拠となる事例を用いて理由を話す	<ul style="list-style-type: none"> ・絆カフェ・ショップの模擬出店のアドバイスを言うときに「○○についてアドバイスです。…した方がいいと思います。」と相手に伝わりやすい伝え方をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話型を用いたことで話す順番を意識して話していた。